



# Press Release

No.18-026

2019年3月5日

一般社団法人  
東北観光推進機構

## 2018年の訪東北外国人旅行者の主な動向について

～ 広域観光の促進等により各地の入込や域内流動が着実に増加～

一般社団法人東北観光推進機構（会長：小縣方樹 東日本旅客鉄道株式会社 取締役副会長）は、独自のマーケティングリサーチ等に基づき、2018年の訪東北外国人旅行者の動向を分析しておりますので、その概要をお知らせします。

今後、本年9～11月のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピック等の大規模なスポーツイベントが国内で開催され、多様な国・地域からの訪日外国人旅行者の増加が見込まれることから、広域的なマーケティングデータの収集・分析を踏まえつつ、東北へのさらなる誘客の拡大に取り組んでまいります。

- 東北が一体となった各種プロモーションの成果等に加え、国際航空便数の増加等が、訪東北外国人旅行者の増加に寄与
  - 国際定期便は震災前に比べ路線数は減少しているものの、便数は台湾便を中心に回復。チャーター便をあわせた国際航空便総数も増加傾向。
- 仙台（宮城）をゲートウェイとした広域周遊が徐々に定着
  - 訪東北外国人旅行者が入国した空港に占める仙台国際空港のシェアが増加している。また、宮城県の国際航空便数の東北域内シェアは約6割だが、外国人宿泊者数のシェアは約3割となっている。
- 夏祭り期間における外国人旅行者の東北域内の流動が大幅に増加
  - 前年に比べ、秋田竿燈まつり前後の宮城県への周遊率や、青森ねぶた祭前後の秋田県への周遊率が大幅に増加するなど、各イベントで他県への周遊が増加
- リピーターの増加等に伴い、訪東北外国人旅行者が各県の主要観光地で増加する傾向
  - 蔵王温泉、弘前公園、銀山温泉、角館、安比高原、大内宿、仙台城など、各県の主要な観光地への入込が前年に比べ増加。

以上

### 【お問い合わせ先】

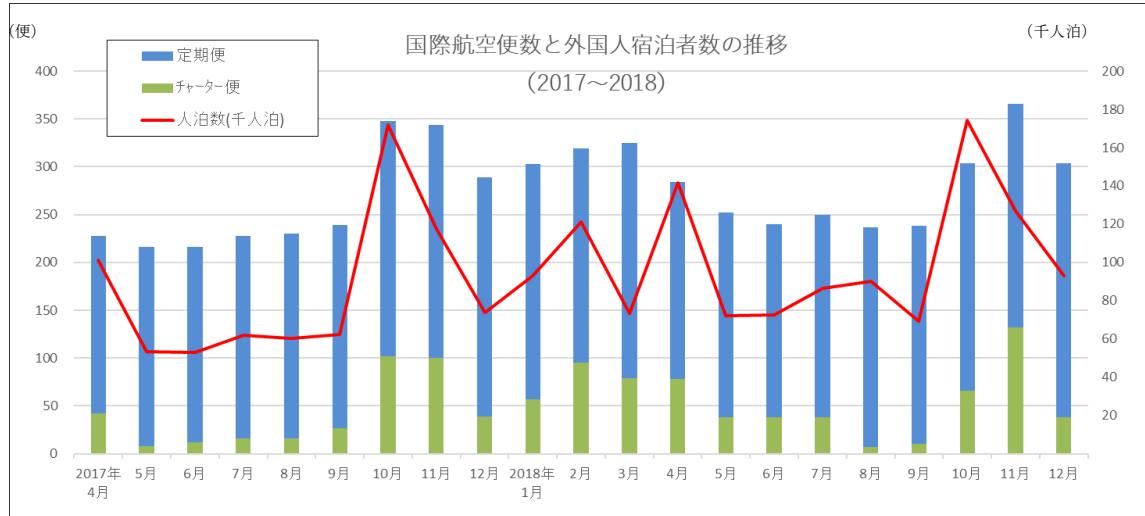
(一社) 東北観光推進機構  
事業企画部 新野・倉田・齋藤  
TEL: 022-721-1291  
FAX: 022-721-1293

## 1. 国際航空路線・便数と外国人旅行者数の状況

東北6県における国際定期路線・便数は2019年2月現在で7路線・週35便となっており、震災前に比べ路線数は減少したものの、好調な台湾路線を中心に便数は回復している。

チャーター便を含めた国際航空便の総数は、2018年度(見込)で3,498便(うちチャーター608便)と前年比で213便増加するなど、外国人旅行者の増加に大きく寄与している。【図1】

◇ 図1 東北6県の国際航空便数と外国人宿泊者数の推移(2017年4月～2018年12月)



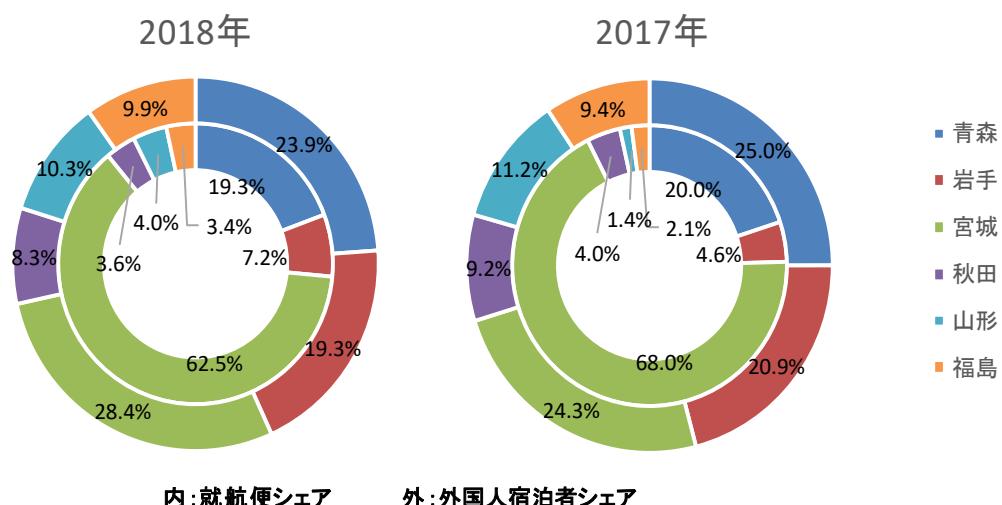
資料：東北観光推進機構調べ(国際航空便数)、観光庁宿泊旅行統計調査(宿泊者数)

## 2. 宮城県(仙台市)と東北各県との流動状況

2018年の東北6県における国際航空便数のシェアについて、仙台国際空港を有する宮城県が62.5%を占めている一方、外国人宿泊者数のシェアでは28.4%となっている。【図2】

訪東北外国人が入国した空港を全国ベースでみると、2018年1～9月では仙台国際空港が全体の24.4%となっており、前年同期比でシェアが年々高まっている。

◇ 図2 東北6県における国際航空便数と外国人宿泊者数の県別シェア



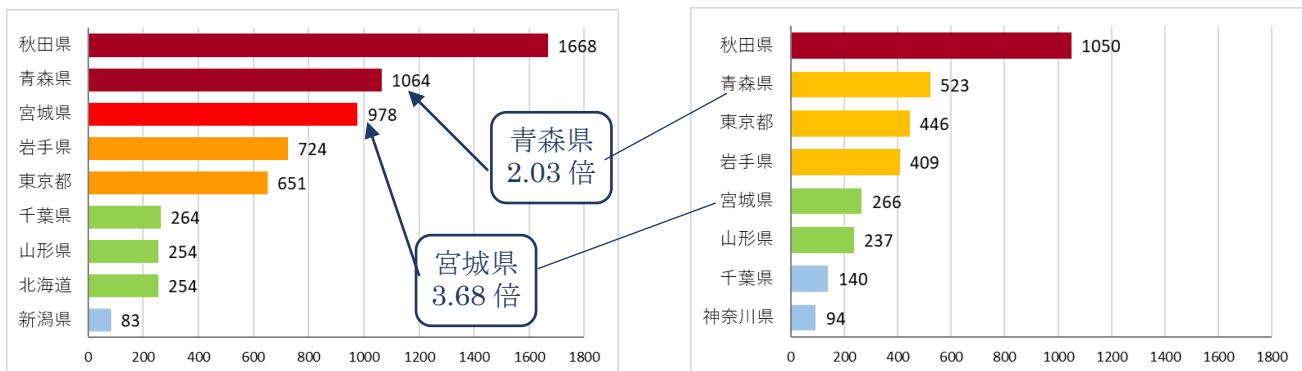
資料：東北観光推進機構調べ(国際航空便数)、観光庁宿泊旅行統計調査(宿泊者数)

## モバイル空間統計を活用した分析

### 3. 夏祭り期間における外国人旅行者の東北域内の流動

2018年の東北6県の主要な夏祭りにおいて、外国人旅行者が東北域内の他県へ周遊する割合が前年に比べて大幅に増加している。たとえば、竿燈まつり（8月3～6日）期間に秋田市に滞在していた外国人がその前後に他県を訪問した状況をみると、青森県は前年比2.03倍（1,064人）、宮城県は前年比3.68倍（978人）となっている。【図3】

◇ 図3 竿燈祭り期間前後の外国人旅行者の周遊状況（秋田市～各県）  
2018年（平成30年） 2017年（平成29年）



資料：モバイル空間統計

※本統計における外国人旅行者数は当該エリアに2時間以上滞在した人数

（ただし、下記の主要観光地におけるスポット分析では1時間以上滞在した人数）

※同旅行者数はローミングデータの数値を国統計に基づき拡大推計し算出している

### 4. 主要な観光地における外国人旅行者の状況

東北6県で外国人旅行者数の多いエリア（1kmメッシュ）の2018年（1～9月まで）の状況をみると、蔵王温泉、弘前公園、銀山温泉、角館、安比高原、大内宿、仙台城など、各県の主要な観光地において外国人旅行者数が増加している。【表1】

◇ 表1 2018年の訪東北外国人旅行者数のTOP50における順位上昇スポット(+3位以上)

スポット名	メッシュ名	2018年(1-9月)	2017年(1-12月)	前年比
三井アウトレット	宮城県 仙台市宮城野区 仙台港北	10位 (16142)	13位 (14812)	+3位
蔵王温泉	山形県 山形市 蔵王温泉	12位 (14266)	18位 (12024)	+6位
弘前公園	青森県 弘前市 大字下白銀町	13位 (13891)	17位 (13019)	+4位
銀山温泉	山形県 尾花沢市 大字銀山新畑	16位 (12281)	24位 (10239)	+8位
山形駅	山形県 山形市 香澄町	19位 (11176)	26位 (10196)	+7位
仙台国際空港	宮城県 名取市 下増田	23位 (9499)	34位 (8146)	+11位
角館	秋田県 仙北市 角館町小勝田	27位 (9210)	38位 (7884)	+11位
安比高原	岩手県 八幡平市 安比高原	28位 (9126)	32位 (8574)	+4位
弘前市街	青森県 弘前市 大字代官町	30位 (8847)	41位 (7317)	+11位
大内宿	福島県 下郷町 大字大内	34位 (7918)	40位 (7355)	+6位
仙台城	宮城県 仙台市青葉区 青葉山	37位 (7462)	44位 (7071)	+7位

資料：モバイル空間統計

※スポット名はエリアの位置データから推測される近隣の観光地や交通結節点等

※2017年の順位は2018年の上位50か所の中での順位